



道路建設産業労働組合協議会

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-2-16TGビルディング内 (NIPPO労働組合内)

電話 03 (3563) 6744

URL <http://www.doukenroukyou.com>

＜第31回定期大会報告＞

2016年7月21日(木)に日暮里のホテルラングウッドにて第31回定期大会が開催されました。今大会での代議員の人数は、加入組合毎の規程人数と地方協議会議長の4名を合計した総数33名であり、本大会代議員33名の出席により大会の成立が確認されました。

冒頭、白鳥議長は『私たち道路建設業界の現状は、公共工事に減少傾向にあるものの民間建設投資は底堅く推移しており、道路舗装大手各社は、手持ち工事の順調な消化などにより、おおむね営業増益となった。しかしながら、技術者・技能労働者不足は深刻であり、特に若年就業者の確保・育成は建設産業全体の課題である。また、組合員の時短や休日取得に大きな進展はなく、我々が提唱する「ワーク・ライフ・バランス」に対する意識は十分に浸透していない状況にある。道路建設業界における将来の為にこれら諸問題について継続して取り組んで行かなければならない。』と挨拶しました。



来賓は、日建協(田中議長)・基幹労連(曾根崎中央執行委員)・長谷工グループ労働組合(梅田中央執行委員長)・全電工労連(葛西副議長)・通建連合(反田事務局長)が出席され、日建協の田中議長より祝辞を頂きました。

その後、議事に従い2015年度経過報告・2016年度運動方針(案)・2016年度予算(案)が各担当役員より説明があり、全ての議事が満場一致で承認されました。

役員選挙では、副議長の彦坂貞宣氏(大林道路職組)・中央執行委員の八波良一氏(NIPPO労組)・中央執行委員の馬上純二氏(三井住建道路労組)・会計監事の星健氏(大成ロテック社組)4名が退任し、新任として、新副議長に尾崎吉明氏(大林道路職組)、新中央執行委員に深野智文氏(NIPPO労組)、静正人氏(三井住建道路労組)、龍王嘉比士氏(前田道路労組)、新会計幹事に中田旨洋氏(大成ロテック社組)が就任しました。

退任された彦坂副議長はじめ4名の役員におかれましては、長年の道建労協での活動、大変お疲れ様でした。

＜2016年度の取り組み＞

昨年に引き続き議長を務めさせていただきます白鳥です。昨年度は、組合員の皆さんのフォローのおかげでなんと一年努めることが出来ました。改めて御礼申し上げます。本年も引き続き道建労協加盟の各単組及び組合員の皆さんにとってより価値のある組織にしていきたいと考えております。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。さて、2016年度の始まりに当たり一言ご挨拶申し上げます。

建設業は未だ魅力ある産業とはいえず人が集まらない状況が続いております。道建労協は、皆さんご存知の通り「働きがいのある職場環境づくりと豊かな生活の実現」に向けて様々な方面から活動してきました。その中で「休日確保」による時短の推進は絶対条件だと考えております。建設業という成熟産業の中で、今までの働き方を変えるというのは間違いなく多大な労力を必要とします。問題・課題も山積みです。しかし、難しい、出来ないと言っているのはこの先何も変える事はできません。政府は「時短」を含めた「働き方改革」を最重要課題としています。建設業は変わっていくべき世の中から試されているのです。これを受けて、官民を含む業界全体で「労働環境の改善」を強化しようとする動きが始まっています。その中で、道建協は毎月第2土曜日の事業所閉所による連続休日の取得促進に取り組んでいます。我々道建労協も2004年より6、11月に「土曜閉所推進運動」を展開しております。昨年6月には国土交通省も後援に加わっていただきました。豊かな生活の実現には賃金の向上はもちろんのこと労働環境の改善、とりわけ長時間労働の解消が不可欠です。休日の増加に向け、発注者を含む関係業界団体や労使が産業の魅力化に向け、できることを確実に進めることが重要です。使用者側団体が動き始めた今はそのチャンスなのです。

道建労協では「土曜閉所強調月間」にあわせ、6月に「休日フォトコンテスト」を実施しています。11月の第二土曜日には、全国統一ボウリング大会を開催します。昨年は339名の参加をいただきました。今年は500名の参加を目指しております。ぜひ多くの組合員及びその家族の皆様の参加をお待ちしています。今後も「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けて、皆さんの背中を後押しする企画を立案し実行していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(議長 白鳥 雅之)

『レッツ・ウォーキング』
十月になり猛暑が嘘のように朝晩の涼しさが心地よくなってきました。当社においては経済安全推進組合がタッグを組み、レッツ・ウォーク・キャンペーンを行っています。かくい私も日々の運動不足を痛感し、通勤時にJRの駅を3つ手前で降りて約30分のウォーキングをするようにした。歩くことも勿論であるが、日陰歩くことのないエリアをキョロキョロしながら散歩がてら歩くことで気持ち良い朝をむかえている。(住吉街をスリッでキョロキョロと通ると空気に間違った感覚の程々)
現場に出られている方は業務中に身体を動かしたり、歩いたりしているかと思いますが、内勤の方は意識しないと運動不足になりがちです。やっと朝晩も涼しくなってきたので多少の運動は汗もかかず、朝から昼中がびしょ濡れなんてこともなくなってきました。ぜひ毎日10分くらい家を出発し、駅やバス停を1つ手前で降りて散歩してみたいかがでしょうか？
私も日頃主にならぬよう、道を走ったりしてまずは年内続けてみようかと思っています。

NIPPO労働組合

深野 智文

フ
ウ
エ
イ

第 3 1 回労使セミナー

2016年1月13日、ホテルラングウッドにおいて第31回労使セミナーが開催されました。当日は道建労協加盟組や建設産労懇の役員の皆様、道建協総務委員会を中心とした各企業の総務・人事部門の皆様、日合協の皆様をお招きし、講師に㈱グリーン・フロー代表を務めていらっしゃる高畑好秀先生をお迎えして『限界を打ち破るメンタル力』と題し、講演していただきました。

私たちの道路舗装業界は、以前より労働環境の改善に向けた取り組みとして、特に土曜閉所推進運動に注力してまいりました。昨今では業界全体が本腰をいれて土曜閉所・休日取得に向けた運動を支援する動きが出てきており、以前とは随分環境が変わってきているといえますが、現状は閉所率、休日取得率もなかなか進展しておりません。それは私たち一人ひとりの強い意志が不足しているからではないでしょうか。

そこで今回のセミナーでは、「メンタル強化の心構え」についてご教授していただきました。人間は「心」があるから豊かに生きていけますが、時にはそれが邪魔する場合もあり、プラスのイメージをすると「チカラ」が入り、マイナスのイメージをすると「チカラ」が入らないことがあります。それは、ポジティブなイメージは常に成功するイメージを想像するトレーニングを継続しなければ功成し遂げられませんが、ネガティブなイメージは過去の失敗経験から描きやすく簡単に想像できてしまうことから、多くの人がネガティブに物事を捉えてしまいがちです。講演の当日は実際に身体を動かすことによって、目の前の事実を自分がどう捉えるか、または事象に対してチャンスと捉えられるかが重要であることを身をもって体験することができました。

『限界を打ち破るメンタル力』、高畑先生に講演いただいた内容が、まさに私たちに必要不可欠な力ではないでしょうか。我々の労働環境においても「いつか変わるだろう」というような気持ちでは現状の労働環境を変えることは難しいと思います。一人ひとりが強い意志を持って、本気で取り組むことが重要であり、意志なきところに道は拓けずといったところでしょう。「第二土曜日を何とかして休む」、「工程表に線を引かない」など常に明確な目的を掲げ、成功するイメージを持ち続けられれば、少しずつでも前進していくはずですよ。

今道路舗装業界は人員不足も深刻であり、若年社員の離職率は大きな問題となっております。これからの業界の魅力化を実現するためにも、今こそが踏ん張りどころであり、チャンスでもあります。

最後に、皆様が強い意志をもって一步一步前進し、メンタル面からもより良い労働環境を目指し、魅力ある産業へ繋げていきましょう。

大成ロテック社員組合 大上 賢二



北陸・東北地区 関係団体及び加盟単組企業訪問

2016年6月15日と16日の東北・北陸地区の交流会と併せて各地区関係団体と加盟単組企業の訪問を行いました。ここ数年、土曜閉所活動に対する認識が高まるなか、使用者側の意識にも変化が現れてきました。各社人材の確保という面からも企業が本腰を入れて土曜閉所及び休日取得活動に積極的に取り組んでいる印象をうけました。特に、日合協東北連合会においては、昨年同様連続休暇取得促進に取組むことを取引先に向け専門紙へ広告を出している姿勢が評価できます。次は、我々がどう応えるのか、そうするにはどのようにしなければいけないかということを個々から発信及び行動し、会社と対話を繰り返しながら、大きな流れにしていかなければなりません。その為、労使一体で知恵を絞りあい、出来ることを一歩ずつ改善し、前に進んで行くしかないと思います。私達が率先して“働き方”を変え、加盟単組が一丸となって土曜閉所活動に取り組むことが、10年先の魅力ある道路業界の構築につながるはずです。

前田道路労働組合 俵 一仁



スケジュール

第31回定期大会にて承認されました年間スケジュールを紹介いたします。内容については前年とほぼ同じであります。活動の経緯報告については御遊幸ホームページや機関紙などで紹介いたします。

2016年度道建労協年間スケジュール

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
各種会議		三役会	中 執	三役会	中 執		三役会	中 執		三役会	中執会	
大会 企業訪問	単組大会	単組大会	単組大会 企業訪問	単組大会						企業訪問		定期大会 単組大会
研修会 セミナー						労使 セミナー (中旬)						単組支援 セミナー
地協活動	幹事会		地域交流会		幹事会 (地域連絡会)	(地域連絡会)	幹事会			幹事会	地域交流会	地協代表者 (地域連絡会)
春闘への取組			年齢構成調査	調査時報			基本方針	情報交換	情報交換	情報交換	情報交換	
産 労 懇		運営委員会 土曜共同ﾌﾞﾛｸﾞ			総会 セミナー		運営委員会			運営委員会 土曜共同ﾌﾞﾛｸﾞ		運営委員会
機 関 紙			92号		番外編	93号						番外編
ポ ス タ ー				土曜開所							土曜開所	
アンケート					土曜開所							土曜開所
関連団体訪問 その他			道建協 日合協 厚労省・国交省	全国ｽﾎﾟｰﾂ 大会						道建協 日合協 厚労省・国交省	休日写真 コンテスト 協会他等	

第31回単組支援セミナー

第31回定期大会閉会后、単組支援セミナーを開催いたしました。講師は三遊亭楽春氏で、講演タイトルは「笑いの効果でメンタルヘルス&コミュニケーション」として約1時間お話いただきました。楽春氏は落語を通して日本の伝統と笑いの大切さを伝えておられました。笑うことが生命力を支え、笑いこそが体の血行を促進させ、笑うことで心をリフレッシュさせる、点が線へと変わる線の展開がとても楽しく、また心地よく聞くことができました。特に、自らの若き日の人生経験をもとにした線が最後には人生の知恵に行きつく有樹は落語の真髄を見たとも言え、納得と笑い溢れる内容でまとまっておりました。我々の業界も見方を変え、意識を変え、健康と仕事、いずれはワークライフバランスにつなげていくことができれば、仕事の為に生きるのではなく生きる為の仕事であるという認識を強くもてると感じました。ちょっとした息抜きを兼ねて笑いの世界に足を運んでみるのも良いものだと感じた興味深いセミナーになりました。



前田道路労働組合 俵 一仁

地協のない地域の交流会



東北地協

2016年6月15日(水)仙台ガーデンパレスにて東北地区交流会が開催されました。

交流会では、各単組の土曜所帰途月間の取り組みと労働環境改善に向けた取り組みについて意見交換を行いました。

現在当社においては「ゆとり創出の実現」と題した、労働環境の改善や労働時間の短縮に向けた労使一体の取り組みがスタートしており、今まで出来るように出来なかった課題の一つが、少しずつ解決できる方向へ動き出しております。

労働環境における問題点について各単組から挙がる意見は、同様の問題が多いのが印象的でした。なかでも、土曜所帰途月間に対する取り組みについては、各単組が具体的な取得率アップに向けて、積極的に啓蒙活動を実施しており、土曜所帰途月間が業界内で強固に展開されていると感じました。各単組が、道路産業をより魅力ある業界にしていこうという前向きな意気込みが伝わってきたので、共感する意見が多く、実りある交流会になりました。



大成ロテック社員組合 東北支部 石川 舜



北陸地協



今年の6月16日に地協のない地域交流会に今回始めて参加させて頂き、同業他社との組合員交流及び全国の様々な状況を知ることが出来て大変有意義な時間となりました。その中で連続休暇取得に向けての取り組みについては目からウロコでした。私が従事している工場は6月に連続休暇運動がありましたが無休指定出荷の為、達成できませんでした。しかし、広島地区では既に第2土曜日を閉所としていること、関東方面でも昨年7月に同様に取り組んでいること、北陸地区で進めていくにはどのようなことが必要なのか議論することが出来ました。単組では支部労使懇談会議題にも休日連続休暇を取り上げ、現在、北陸合材協会でも取り組んで行こうと議論を開始したところです。まだまだ当地区では難しいですがなんとか運動を継続し、より良い道路産業となるように微力ではありますが努めて行きたいと強く感じました。

NIPPO 労働組合 北信越支部 工藤 丈

ホームページのご紹介

道建労協では、加盟単組組合員への更なる情報発信ツールとして、ホームページを開設しております。

本部や地協の活動状況の報告に加えて、旬な話題・旬な情報を随時発信しています！

皆さん、奮ってアクセスして下さい！

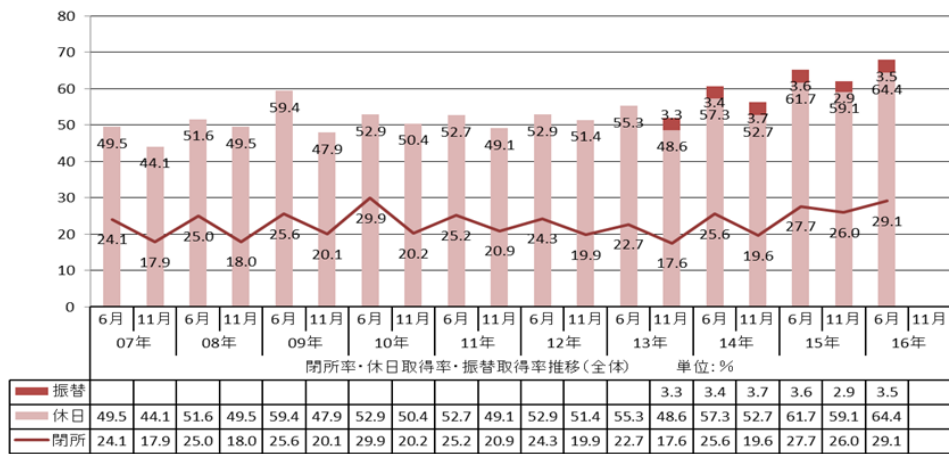
<http://www.doukenroukyou.com>

検 索

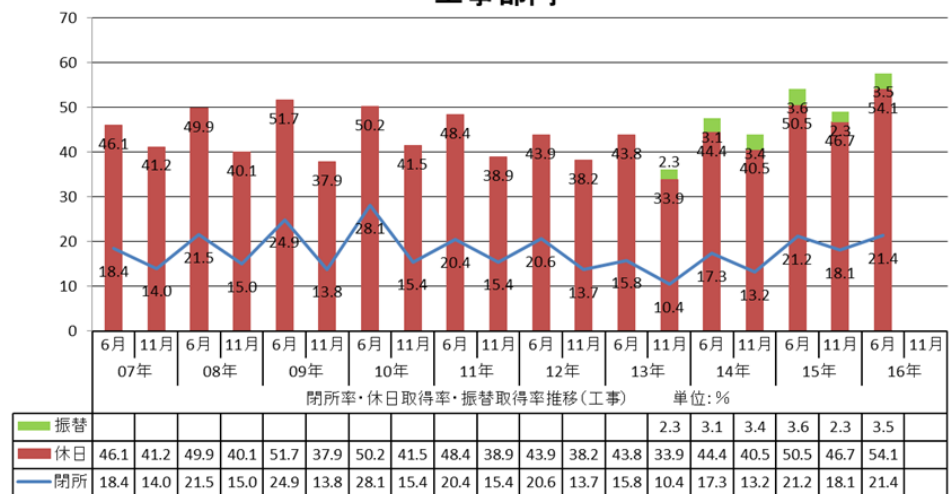
土曜閉所率・休日取得率の推移

※2016年6月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。

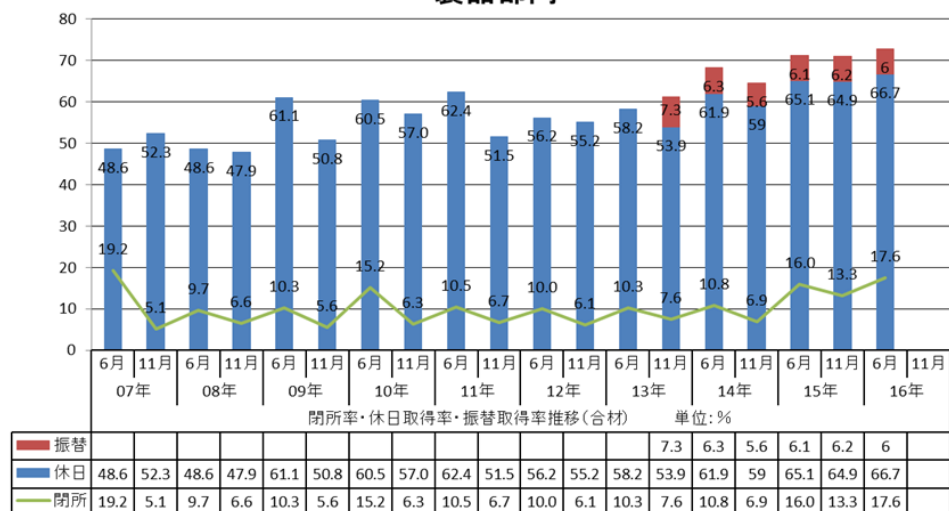
全体



工事部門



製品部門



新年度 役員紹介



**2016年7月21日開催の
第31回定期大会で
下記の方々が新役員となりました。**



白鳥 雅之
議長
(NIPPO 労働組合)



尾崎 吉明
副議長
(大林道路職員組合)



大上 賢二
副議長
(大成ロテック社員組合)



松浦 孝
副議長
(前田道路労働組合)



俵 一仁
事務局長
(前田道路労働組合)



杉原 慶太
中央執行委員
(東京舗装工業社員労働組合)



深野 智文
中央執行委員
(NIPPO 労働組合)



神田 知典
中央執行委員
(フジタ道路職員組合)



静 正人
中央執行委員
(三井住建道路労働組合)



龍王 嘉比土
中央執行委員
(前田道路労働組合)



雲林院 弘行
会計監事
(大林道路職員組合)



中田 旨洋
会計監事
(大成ロテック社員組合)

退任役員紹介

第31回定期大会をもちまして、下記の方々が退任されました。
今後の各氏のご活躍を祈念するとともに、当協議会における
重責を全うされたことに感謝の意を申し上げます。



彦坂 貞宣
(大林道路職員組合)
任期：平成26年度～平成27年度
役職：副議長



八波 良一
(NIPPO労働組合)
任期：平成27年度
役職：中央執行委員



馬上 純二
(三井住建道路労働組合)
任期：平成27年度
役職：中央執行委員



星 健
(大成ロテック社員組合)
任期：平成26年度～平成27年度
役職：会計幹事

物知りクイズ

近頃、朝晩の冷え込みが気になる時期になってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。そろそろ年末年始の長期休暇に向けてより充実した休みになるよう、今から計画していきましょう。

そこで今回の「物知りクイズ」は「食欲の秋」をテーマとしたクイズを出題します。気温が下がってくると体温を保つために身体は栄養素を欲します。代謝も促進されるので夏以上に身体が食事を必要とするのです。もちろん夏場も発汗やエネルギー消費等で食事を必要としますが、その必要の目的が異なってくるため食事が旺盛になるのです。

また冬を前に身体は蓄えを必要とします。そう、人間も身体の栄養の側面では冬眠モードに近いのです。「寒くなる前に身体に栄養を蓄えとけ」という指令が食欲旺盛になる理由でもあるのです。

Q1. どんなことでも成し遂げるまでには年月が必要だという例えて「モモクリ3年、カキ〇年」という言葉があります。カキは何年？

①3年 ②5年 ③8年 ④10年

Q2. サツマイモで作る、甘くて美味しいおやつの大芋いも。「大学」という変わった名前の由来は？

①サツマイモの品種名 ②調理法の考案者の名前 ③大学生に流行したため ④初めての調理場が大学であったため

Q3. サケ（シャケ）は秋になると自分が生まれた川に戻り、産卵します。では、サケの卵はどれ？

①カズノコ ②タラコ ③イクラ ④シラコ

Q4. 秋の旬の魚といえば色々と思い浮かびますが、そのうち「ハタハタ」は、漢字で書くとどれ

①鮓 ②鰯 ③鮭 ④鯖

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。

たくさんのご応募をお待ちしております。

●解答 ●住所(会社宛の場合は会社名もご記入ください)

●氏名 ●所属単組名

●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。

●締め切り 12月22日(木)

●宛先 〒141-8665 東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内

道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛

FAX 03-5487-0051 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE91号物知りクイズ当選者

該当者なし

多数の応募をお待ちしております！！

編集後記

8月から9月にかけて、連続して台風が日本列島に接近・上陸しました。特に9月は、雨ばかり降っていたイメージですが、湿度も高く過ごしにくい日が多かったように感じます。

10月に入り、秋本番を実感していますが、朝晩と日中の寒暖差も激しく、体調管理には充分気を付けたいところです。

11月は「土曜閉所強調月間」となっています。道建労協では、10月初旬に企業訪問や関係省庁を訪問しましたが、以前に比べ休日取得に向けての気運が高まっているように思います。会社や行政の取組みと、働く人の意識改革の両輪で、休日取得は実現できるものと信じています。皆様にとって、秋らしく実りの多い、思い出に残る休日が過ごせますようお祈りしております。

大林道路職員組合 尾崎吉明